

報道関係者各位
プレスリリース

スモール出版

株式会社スモールライト
2017年12月5日

「悪くあれ！」

窒息ニッポン、自由に生きる思考法

モーリー・ロバートソン【著】

刊行のお知らせ

弊社「スモール出版」では、国際ジャーナリスト／ミュージシャンであるモーリー・ロバートソン氏のエッセイ集『「悪くあれ！」窒息ニッポン、自由に生きる思考法』を12月18日に発売いたします。ぜひ番組や記事での紹介をご検討いただけましたら幸いです。



いや、もうなんで生き方を変えないのか。

この本を読み終えたあとでまだ逡巡しているなんて、
こっちが信じられない。

(本書「おわりに」より)

【著者】モーリー・ロバートソン

1963年、ニューヨーク生まれ。アメリカと日本を行き来しながら日米双方の教育を受け、1981年に東京大学とハーバード大学に同時合格。東京大学を1学期で退学し、ハーバード大学に入学。電子音楽を専攻し、アナログ・シンセサイザーの世界的な権威であるイワン・チェレブニン氏に師事。1984年に初の著書『よくひとりぼっちだった』(文藝春秋)がベストセラーになった。1988年にハーバード大学を卒業した後、日本に渡りラジオパーソナリティとしての活動を経て、現在は国際ジャーナリスト/DJ/ミュージシャンとして精力的に活動中。近著に『挑発的ニッポン革命論 煽動の時代を生き抜け』(集英社)がある。

■媒体概要

書名 : 「悪くあれ！」窒息ニッポン、自由に生きる思考法
著者 : モーリー・ロバートソン
仕様 : 四六判並製 / 216ページ
定価 : 1,500円(税込1,620円)
発売日 : 2017年12月18日(月)
販売場所 : 全国書店、ネット書店にて

■本書に関するお問い合わせ先

スモール出版(株式会社スモールライト)
担当 : 三浦修一
Tel : 03-5338-2360
E-Mail : miura@small-light.com
※著者への取材、素材の提供など、
対応させていただきます。

「悪くあれ！」

窒息ニッポン、自由に生きる思考法 の見どころ

見どころ①

ジャーナリストの 視点から見た 今の日本の危機

日本人ジャーナリストの母親とアメリカ人医師である父親の長男として育ち、日本とアメリカを行き来しながら育った著者だからこそ感じる「今の日本への違和感と危機」と、そのソリューションを提案します。

見どころ③

ハーバード大学で 学んだ音楽論を元に 柔軟な思考力を得る

著者がハーバード大学で現代音楽の巨匠から学んだのは、西洋音楽が定めた「12音階のグリッド」から解放され、あらゆる音を「音楽」として解釈することでした。これを「社会と個人」に置き換えることで、閉塞した状況から解放放たれるためのヒントが見えてきます。

見どころ②

東大とハーバード大に 同時合格を果たした 秘訣は「パンク」にあり

日本では「外国人の不良」で、アメリカでは「世間知らずな子供」だったという2面性のある思春期。その複雑な日々を振り返りながら、「パンクにのめり込み、東京大学とハーバード大学に同時合格」に至るまでの経緯が語られています。

見どころ④

自由に生きるための キーワードは「禅」と 「ダンスミュージック」

常識や公序良俗でがんじがらめになってしまいがちな日本で、群れない「個人」として生きるにはどうすればいいのか。著者が提案する生き方のキーワードは、ズバリ「禅」と「ダンスミュージック」。一見相容れないようにも思える、この2つを結びつけるものとは。